

よろしくお願いします

教頭 吉田 俊也

はじめまして。この度の定期人事異動で一宮西高校へ赴任してまいりました。担当教科は英語です。本校は英語教育の拠点校（あいちスパーイングリッシュハブスクール）であり、来年度から国際理解コースを設置予定など、教育改革の最前線としてさまざまな取組を行っております。英語教育者としても力不足で至らぬ点が多々ありますが、ご迷惑をおかけしないようにしたいと思っております。

昨年度までは名古屋市瑞穂区にありますが、昭和高校で教頭として勤務してきました。とはいえ、名古屋地区の学校勤務は昭和だけで、それまでは隣の尾西地区の学校を転々としておりました。ここ一宮市（尾中地区）での勤務は初めてですが、かつて同僚として勤務させていただいた先生方も久しぶりにお会いできました。中には数十年ぶりの先生方もいらっしゃり、昔を思い出すとともに、時の流れを実感しています。また、保護者となったかつての教え子との再会も、時の流れを感じる瞬間です。この数年どの学校でも、地区はかわっても、かつての教え子との再会が続いています。とてもうれしいひとときですが、やっぱり歳をとったんだなと実感しています。

赴任して数ヶ月を過ごした一宮西高校については、生徒が落

ち着いて、いろいろなことに力を入れて取り組んでいる学校だとの印象を持っています。先日引率者の一人として同行した一年生の遠足や二年生の修学旅行で、めいっばい楽しもうとする生徒の行動に感心しました。勉強や部活動に取り組むエネルギーも感じられます。ただ、入学時は学力的に余りかわらないはずの前任校の生徒達と比べると、地域性もあるのでしょうか、全般的におとなしく感じてしまい、もう少し自分の意見が言えるところないわけではありません。しかし、学習に関しては、より意欲的に取り組んでいることに間違いありません。生徒の進路希望の達成や、これまでの歴史と伝統を守りながらこれからの一宮西高校を築き上げていくお手伝いととも、将来のリーダーの育成にも微力ながら貢献できればと考えています。よろしく願います。

昨年度の総会報告

平成二十七年年度の総会は、昨年八月九日（日）午後五時より、尾張一宮駅前ビル七階シビックホールで行われました。

十回生・三十回生を中心として、総勢百二十四名の方々に参加していただきました。ご多忙にもかかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方に

もご出席いただきました。

総会では、平成二十六年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成二十七年度の事業計画・予算案の審議と、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていただいたように、同窓会費及び同窓会報郵送料カシパでは多くの方に協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

懇親会は、学年同窓会を担当した十回生・三十回生に新会員の四十九回生を加え、若々しい雰囲気の中で盛り上がり、各テーブルでは、昔話に花が咲き、時が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌斉唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年は十一回生と三十一回生の学年同窓会を開催させていただきました。多数の方が参加していただければと考えております。なお、担当学年にかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場合としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いです。

今年度の総会に、是非皆様お誘い合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。

東京支部会の報告

39回生 請川 裕晃
(2005年卒業)

2015年度の一宮西高校同窓会東京支部会は、12月12日（土）に東京、新宿にて開かれました。本校校長である井中宏史先生を含

め、20名ほどの方に参加していただきました。

新宿西口交番前の「西高の校章」の下に集い、1次会の会場へと向かいました。西高時代の懐かしい話や、近況報告で盛り上がり、あつという間の2時間でした。会場を移してクリスマスツリーの前で記念撮影を行いました。新しいメンバーを加えての2次会も、大変盛り上がったと伺っております。

関東圏在住、または東京に立ち寄られる皆様のご参加で東京支部会を盛り上げていただきたいと思います。

西高生に教えられて

出川 陸子

この度の人事異動により、西高を去ることになりました。

思えば6年前、西高に赴任するのとわかつてからの数日間は毎日胃が痛かったです。「各中学校の優秀な生徒が集まってくる高校で教えられるのだろうか?」「人間的にも申し分のない生徒に対し、自分はいったい何ができるのだろうか?」

そんな中で慌ただしく迎えた入学式。自分の目の前にいたのは普通の初々しい高校1年生でした。リトルワールドへ遠足に行つたときも生徒たちの嬉しそうな顔はごく普通の高校生でした。

初めての定期考査で思うように結果を出せず、苦しむ生徒がたくさん出てきました。「授業のスピードが速くてついていけない」「課題がやりきれない」と言ってくる生徒もいました。そんな生徒の様

子を見て、西高は世界で活躍できる人材を育てる学校なんだと改めて気づきました。それならば生徒に挫折させたままではいけない。授業以外のLTやSTで、自分の人生を考えるためのヒントをたくさん紹介したのは今となっては懐かしい思い出です。

いつしか胃の痛さも忘れ、生徒の将来のためにと今まで出会ったことのない難しい教材の予習に力を入れ、学校祭の準備のサポートをし、進学指導の勉強も自分なりにやりました。自分の経験不足や力のなさに悔しい思いもたくさんしましたが、1年から持ち上がり、2回も卒業生を出させていただくことができました。

生徒のためといいながら、実は西高で自分が夢中になってやってきたことは、私自身のためでした。私は多くの先生や生徒に教えられて、知らず知らずのうちに教師として成長できたのだと思います。

次の勤務先は私の地元です。皆様も教えてくださったことを無駄にしないで、今後は地域に貢献できるように努力していきます。

本当にお世話になり、ありがとうございます。今後とも西高と同窓会が益々発展されることを心から祈っております。

お世話になりました

丹下 由男

一宮西高校には、生徒として三年間、教員として十九年間あわせて二十二年間お世話になりました。教員として採用されたときから、母校である西高の動向は、い